

ACP（人生会議）

～4つの段階に応じた意思決定支援についてみんなで考えよう～

～研修会報告～

この研修会は、「ACPの段階に応じた特徴や考え方について学び、意思決定支援等に活かせるようになる」「今後のかかわり方（コミュニケーションなど）や多職種連携に活かせる情報を得ることが出来る」を目的として会場開催しました。多職種41名の方々がご参加くださいました。ACPについての講演後、テーマをもとにグループで語り合いました。

開催日時:

2025年1月18日(土)

14時～16時

くるす まさろう
講師: 来栖 昌朗氏



くるす医院
院長

「人生会議（advanced care planning）よりよく人生の最期を迎えたい」をテーマにACPの4つの段階（意思形成期・意思表明期・意思決定期・意志実現期）の支援を中心にお話しいただきました。また、1度の意思確認が決定事項となるのではなく、普段のコミュニケーションや支援等の中で、変化していく思いをとらえ、多職種の協働をもって、ACP支援を行うことの大切さをわかりやすくお話しいただきました。

- 意思形成支援：本人が気づいていない価値の断片を形作るように支援する
- 意思表明支援：本人の価値観や気になっていることを、言葉で語られるよう支援する
- 意思決定支援：本人の価値観に基づいて最善の医療やケアを複数の選択肢から選ぶように支援する
- 意志実現支援：本人の意思をできるだけ実現できることを支援する

姫路市医療・介護連携会議（地域看取り連携部会）で作成された市民向けACPパンフレット『「心豊かにさいごまで私らしく暮らすために～人生会議をはじめよう～」のご案内もを行いました。パンフレットダウンロードURL↓
<https://himeji-kenkei.com/news/3773.html>



グループワークでは、①普段の気になること、困りごととはどんなことですか②できることを考えよう！について多職種で話し合い、活発な意見交換ができました。



参加者の皆さまからの声をご紹介します（アンケートより一部抜粋）

- 普段のアセスメント、会話の中で情報を得て本人の意向を聞いておくように心がけてみる。
- 4つの支援があることを知り、患者・家族の変化する思いを受け止めながらケアをしていきたいと思いました。
- 普段のアセスメント全てがACPに繋がると感じたため、繰り返し話をするなど日頃の訪問でコツコツ関わっていききたい。
- 早めから関わることの大きさがわかったので介護サービス介入時に活用していきたい。
- グループワークをすることにより、より一層知識が深まりました。
- 頂いたパンフレットをツールとしてご利用者様と一緒に考えていきたいと思いました。
- まずは、患者さんに関わる多職種で情報共有する事からはじめたいと思います。

※アンケートにご協力いただきました皆様、ありがとうございました。

★今後も様々な研修会を企画しています！ 随時、詳細が決まりましたらホームページに掲載します。